

# まほろば秦野通信

平成28年2月4日

秦野市市長室広報課

タイトル	<b>図書館開館30周年記念 特別展示 「二宮尊徳と報徳思想」</b>
When (いつ)	2月5日(金曜日)～25日(木曜日) 午前9時～午後5時 ※月曜の休館日を除く
Where (どこで)	図書館(秦野市平沢94番地の1) 2階 前田夕暮記念室
Who (だれが)	教育委員会、図書館
What (なにを)	二宮尊徳、福住正兄、安居院庄七、草山貞胤、報徳仕法に関する図書等、64点を展示しています。
How (どのように)	県立図書館の「報徳コレクション」の一部を借用して、本館が所蔵する資料とあわせて展示します。 展示している資料は、別紙、目録を参照してください。
Why (なぜ)	秦野市では、安居院庄七や草山貞胤が二宮尊徳の教えを広めたことから、平成25年に「全国報徳サミット秦野市大会」を開催するなど報徳仕法をまちづくりに生かす活動をしています。 図書館が開館30年に当たることを記念して、二宮尊徳の伝記・著作などの関連資料900点以上を収集した「報徳コレクション」を紹介します。
過去の実績	今年度は秦野市制施行60周年・図書館開館30周年記念の事業として、秦野に関係する書籍等を紹介する「秦野の文学誌Ⅱ」を開催しました。
今後の取り組み	これからも秦野やゆかりの人物等を紹介する企画を実施していきます。
問い合わせ	教育部図書館庶務奉仕担当 担当：山口 電話0463 (81)7012

秦野市市長室広報課 (大森) 電話0463(82)5117

図書館開館30周年記念

# 特別展示「二宮尊徳と報徳思想」

神奈川県立図書館「報徳コレクション」より

と き

平成28年2月5日（金）～25日（木）

午前9時～午後5時（休館日を除く）

ところ 秦野市立図書館 前田夕暮記念室

秦野市立図書館では、開館30周年を記念して、神奈川県立図書館の「報徳コレクション」の一部を借用して、本館が所蔵する資料とあわせて展示します。

「報徳コレクション」とは、神奈川県立図書館が薪を背負って本を読む金次郎像で有名な江戸後期の農政家・二宮尊徳の伝記・著作などの関連資料900点以上を収集したものです。



尊徳の生涯、仕法の内容、秦野ゆかりの弟子（安居院庄七、草山貞胤）の活躍を振り返りながら、明治前期に遡る貴重な資料をご覧ください。

「二宮尊徳先生御肖像」

『二宮先生語録』

斎藤高行著、報徳学図書館、1905年

# 特別展示「二宮尊徳と報徳思想」

神奈川県立図書館「報徳コレクション」より

## 展示目録

項番	タイトル	著者	出版者	出版年	請求記号
1	報徳記 一～八	富田高慶	大日本農会	1885	K157/132/1～8
2	報徳記を読む	八木繁樹	総和社	1992	157 二
3	報徳記を読む 第1集		二宮尊徳の会	2014	157 二-1
4	報徳記を読む 第2集		二宮尊徳の会	2014	157 二-2
5	二宮尊徳翁	幸田露伴	博文館	1891	K157/14
6	二宮尊徳 前篇・後篇・終篇	碧瑠璃園	興風書院	1909 ～1910	K157/54/1～3
7	傳記 二宮尊徳	武者小路実篤	講談社	1930	K157/45
8	傳記 二宮尊徳	武者小路実篤	講談社	1930	K157/69
9	二宮尊徳	宇野浩二	桜井書店	1947	K157/237
10	神ながらの人二宮金次郎	松田伊之介	学習社	1942	K157/255
11	二宮金次郎	早川貞水	大江書房	1916	K157/490
12	酒匂川の少年 二宮金次郎物語	名取三喜	霞ヶ関書房	1943	K157/304
13	二宮金次郎	奥平祥一	青樹社	1946	K157/498
14	二宮金次郎	松沢のぼる	鶴書房	1954	K157/614
15	二宮金次郎	和田伝	講談社	1954	K157/479
16	二宮金次郎	芳賀たかし	集英社	1957	K157/599
17	二宮金次郎		児童憲章愛の会	1957	K157/364
18	二宮金次郎	三上蕃	泰光堂	1959	K157/483
19	高等小學校修身科生徒用教科書	教育研究所	普及舎	1899	K157/166
20	家庭教育 二宮尊徳先生教訓画譚	石田傳吉	明星自治団総本部	1923	K157/352
21	神奈川県尊徳会叢書 第1輯～第4輯	神奈川県尊徳会	神奈川県尊徳会	1941 ～1943	K157/361/1～4
22	国民精神総動員と報徳生活	道久誠二	玄同社	1937	K157/362

項番	タイトル	著者	出版者	出版年	請求記号
23	二宮尊徳	奈良本辰也	岩波書店	1993	157 二
24	二宮尊徳 財の生命は徳を生かすにあり	小林惟司	ミネルヴァ書房	2009	157 二

項番	タイトル	著者	出版者	出版年	請求記号
25	二宮金次郎正伝	二宮康裕	モロロジー研究所	2009	157 二
26	小説 二宮金次郎 (上)(下)	童門冬二	学陽書房	1990	913.6 ド-1 2
27	報徳の風が吹くとき	二宮尊徳 大谷勇 福住正兄	報徳学園中学校高等学校報徳教育部	2009	K157/648
28	財政再建の哲学二宮尊徳	左方郁子	PHP研究所	1983	K157/336
29	ゼロ成長の富国論	猪瀬直樹	文藝春秋	2005	157 イ
30	二宮金次郎はなぜ薪を背負っているのか？	猪瀬直樹	文藝春秋	2007	157 二
31	二宮尊徳の破天荒力	松沢成文	ぎょうせい	2010	157 二
32	二宮尊徳の遺訓	松沢成文 鴻谷正博	ぎょうせい	2012	157 二
33	最強の経営コンサルタント 二宮金次郎の教え	松井健一	かんき出版	2010	K157/654
34	二宮尊徳論語	松波節斎	教材社	1940	K157/489
35	新日本建設と報徳	佐々井信太郎	平凡社	1947	K157/225
36	二宮尊徳報徳分度論	二宮尊親	大槻太郎	1903	K157/27
37	二宮尊徳報徳教要領及び其の処世法	井口丑二	内外出版協会	1908	K157/408
38	成功の二宮尊徳	大畑裕	盛林堂	1909	K157/394
39	二宮尊徳全集 第1巻	二宮尊徳 二宮尊徳偉業宣揚会	二宮尊徳偉業宣揚会	1932	K157/49/1
40	近代西相模の報徳運動	早田旅人	夢工房	2013	157 ハ
41	金次郎MAP	神奈川県土地家屋調査士会	神奈川県土地家屋調査士会	2010	K15 0
42	二宮尊徳翁の非常時求国利殖法	大西静史	大西土地拓殖株式会社	1935	K157/306
43	報徳仕法による家づくり村づくり	田中茂一	愛農会本部	1955	K157/638
44	報徳仕法史	宮西一積	一円融合会	1956	K157/1/7
45	相州片岡邑大沢氏 家株永安相続趣法議定書写				K157/114
46	幕末の村おこし	平塚市博物館	平塚市博物館	2007	K15 12
47	報徳方法富国捷徑 初編 ~4編・首巻	福住正兄	報徳學図書館	1874 ~1885	K157/51/1~5
48	報徳教祖二宮翁夜話 卷之1~ 卷之5	二宮尊徳 福住正兄	博文館	1884 ~1887	K157/50/1~5
49	報徳外記 卷上・卷下	斎藤高行	中上喜三郎	1885	K157/22/1・2
50	二宮翁夜話	二宮尊徳 福住正兄	日本経営合理化協会 出版局	2001	157 二
51	福山瀧助翁	小田原市城内国民学校	小田原市城内国民学校		K157.7/14
52	福住正兄翁傳	佐々井信太郎	報徳文庫	1924	K157/214

項番	タイトル	著者	出版者	出版年	請求記号
53	短冊 『暮秋虫 浅ちふの 露も霜とや むすびけん むすほれたる こほろぎのこゑ 正兄』	福住正兄			(飯田九一文庫 番号:2140)
54	七湯方角略圖	歌川広重	福住九藏		K292.85/6
55	福住正兄万福講定宿びら(写真) [※実物は書庫]				K157/92
56	報徳開拓者 安居院義道	鷲山恭平	大日本報徳社	1953	K28 H
57	安居院庄七 二十一世紀初頭秦野市農協創立 記念日にあたって		秦野市農業協同組合	2001	K15 H
58	協同組合の原点「報徳」を広めた 安居院庄七	若槻武行	秦野市農業協同組合	2009	K15 H
59	郷土の生んだ報徳の実践者安居院 庄七	秦野市教育委員会	秦野市教育委員会	1989	K15 H
60	天地の詩	秦野市農業協同組合	秦野市農業協同組合	2003	K61 H
61	報徳を広めた功労者 安居院庄七と草山貞胤	第19回全国報徳サミッ ト秦野市大会実行委員 会	秦野市教育委員会	2013	K28 H
62	江戸時代神奈川の100人	神奈川近世史研究会	有隣堂	2007	K28 0
63	草山貞胤翁	草山惇造	草山惇造	1915	K28.63/1
64	公德經濟二宮翁の歌	草山貞胤 作歌 野村成仁 作曲	東生萬巻堂	1902	K157/115

※ 青字の資料は秦野市立図書館所蔵

【展示協力】

神奈川県立図書館  
企画サービス部地域情報課  
〒220-8585 横浜市西区紅葉ヶ丘9-2  
電話: 045-263-5900(代)

【問い合わせ先】

秦野市立図書館  
〒257-0015 秦野市平沢94-1  
電話: 0463-81-7012